鳥取県総合型地域スポーツクラブ情報誌

クラブインフォメーション



発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内 TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和4年4月 第152号

スポーツくじ BiG

障がい者スポーツボランティア養成Webセミナー



令和4年3月2日(水)、一般財団法人どんぐり財団(総合型クラブ)主催の「障がい者スポーツボランティア養成 Webセミナー」が開催されました。

第一部は、浦田理恵さん(東京パラリンピック 2020 ゴールボール日本代表)による講演会「私とゴールボール*」というテーマでお話しいただきました。

目の異変に気づき、20歳を過ぎ「網膜色素変性症」と診断され、見えなくなるまでの心の葛藤、両親に告白してからの気持ちの変化、家族や障がい者福祉センター等で出会った人たちによって積極的に行動できるようになったことなど話され、自分の生き方を改めて考える機会になりました。

※ゴールボール:アイシェード(目隠し)をして全盲状態で、バスケットボール大のボールを互いに投げ合い得点を競うチームスポーツ

第二部のシンポジウムでは、松本耕二氏(広島経済大学教授)を座長とし、パネリストに浦田理恵氏、白砂匠庸氏(東京パラリンピックやり投げ日本代表)、鈴木裕子氏((一社)広島県障がい者スポーツ協会)、坂光徹彦氏(Apfeile 広島代表)、をお招きしてパネルディスカッションを行い、様々な角度から障がい者スポーツに関わっている方々のお話を聞きました。

鈴木さんからは、障がいの種類や接し方、サポート方法、「声をかける勇気」、障がいを触れてはいけないもの と思わないでほしい。

白砂さんからは、障がい者となって陸上を始めて、ボランティアの方のフレンドリーな対応が印象に残った。 障がいがあってもなくてもフレンドリーに関わっていけるといい。

坂光さんからは、障がい者スポーツクラブを運営していて気づいたことや、どういう気持ちで運営しているか、ボランティアをどう増やしていくか、障がい者の人には一歩を踏み出す勇気、継続する勇気、居場所を見つけることをしてほしい。私の役割は、A-pfeile に関わる全員に居場所を与えることです。

浦田さんからは、外国の人は障がい者にストレートに聞いてくるが、日本人は奥ゆかしいのか声をかけられない。老化の延長線上が障がいだと思っている。ボランティアの方には勇気をもらっている。障がいを受け入れてくれるベースがあるのは嬉しい。

最後に松本さんから、スポーツが真ん中にあって障がい者とスポーツをつなぐ団体が出てくるといい。自分が変われば世界が変わる。輝ける場所が地域にあるといい。

様々な障がい者スポーツに関わっている方のお話を聞くことができました。もっとたくさんの人に障がい者スポーツに関わっていただけるようになるといいです。

令和3年度県民まるごとスポーツ推進事業「みんなdeユニスポ」



トランポ・ロビックス



卓球



スナッグゴルフ



ディスゲッター

令和4年3月6日(日)、青谷町農業者トレーニングセンターで青谷スポーツクラブ主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:みんなdeユニスポ*」で「みんなでスポーツを楽しみましょう!」を開催しました。

※狙い:年齢や性別、障がいの有無に関わらず気軽にスポーツを楽しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

今回は今年度最後の受託事業でしたが、30名(大人21名、子ども9名)と多くの参加があり、「トランポ・ロビックス」「卓球」「スナッグゴルフ」「ディスゲッター」を体験していただきました。

スタートは、磯邊栄里さん指導の下、みんなで「トランポ・ロビックス」で ウォーミングアップをした後、各々体験したい種目に移動し思いっきり 楽しみました。

トランポ・ロビックスは、普段体験できない感覚を味わうことができるので、子どもから大人までとても人気です。

卓球は大人同士で真剣に打ち合ったり、大人と子どもが和やかな雰囲気で楽しんだりしていました。

スナッグゴルフは、ゴルフをしたことがない人でも、ゴルフの打ち方を知ることができ、ゴルフに興味をもってもらえるのではないかと思います。

ディスゲッターは、1~9までの数字が書かれたパネルを、フライング ディスクを投げて何枚抜けるか挑戦し、たくさん抜けるまで何度も挑戦 していました。

最後に、トランポ・ロビックスでクールダウンをしました。

今回は、コロナ感染予防対策として激しい動きは控え、マスクをしていても息苦しくならないような対策を取りました。

一日も早く、マスクなして思いっきり体を動かすことができる日が来る といいですね。



集合写真

連絡先

青谷スポーツクラブ事務局

安達 富由樹

TEL:090-8716-2968

E-mail:k_hasegawa@ncn-t.net

令和3年度文部科学省(スポーツ庁)地域運動部活動推進事業 部活動改革シンポジウム



令和3年3月17日(木)、つくば市立谷田部東中学校(茨城県つくば市)からオンラインで、同校が「令和3年度地域運動部活動推進事業(文部科学省:スポーツ庁)」のモデル校として、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現に向けて、部活動の地域移行に関する実践研究に取り組んだ成果及び諸課題を共有することを目的にこのシンポジウムが開催されました。

【第一部】

テーマ:「学校と地域が協働・融合した部活動改革」

発表者:八重樫 通氏(谷田部東中学校長)

平成30年に学校と地域が協働・融合する市民団体「洞峰地区文化スポーツ推進協会(DCAA)」を設立し、市民団体を運営主体として地域部活動に取り組み、推進事業を受け受益者負担による運営で更なる実証研修を行いながら成果をあげてきた。10種目の地域部活動を設定し、週に1回程度の活動を実施し、コロナの影響を受け実施できない期間もありながらも、推進事業拠点校としての実証研究及び活動を展開してきた。

関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制づくり、課題克服について、拠点校への支援、他地域への普及等について話された。

【第二部】

テーマ:「部活動の地域移行は可能なのか」

パネリスト:塚田 勝之氏(茨城県教育庁保健体育課指導主事)

八重樫 通氏(学校長)

大塚 篤史氏(DCAA担当教諭)

石川慎之助氏(つくばFC代表)

- ・つくば市では現在(令和3年度)3校(谷田部東中学校、茎崎中学校、高崎中学校)で取り組んでいる。県と共催で推進事業に係る検討会および研修会を実施している。検討事項として平日練習日の削減、教員の兼職兼業ガイドラインについて。次年度以降の地域移行について、①総合型クラブを事務局として運営、②スポーツ協会を事務局として運営、③小規模校の拠点校化を検討していく。
- ・現場のボトムアップで世の中変えることができるのではと考えている。部活動の100年先のシステムをどうするのか考えなければいけない。上に求めるだけでは変わらない。色々な立場の方に関わってもらって変えていきたい。そのハブに谷田部東中学校がなれるかもしれない。次の一歩に繋げることができるのではと思っている。
- ・DCAAは、やりたい教員が前向きに進めたからやってこられた。選べる環境を意識して組織している。メリットを求めずやってみる。やってみないとわからない。受益者負担の抵抗はある。
- ・指導者を派遣するにしても見つからない。兼職を頼らざるを得ない。スポ少指導者は中学生を指導するのは難しいと思っている人が多い。専門的な知識がある人に見てもらうのがベスト(教員がベスト)事務的な業務が大変なので管理できるスポーツ団体があればいい。道徳的・倫理的なことを指導者に学んでもらう。

【第三部】

DCAA活動の動画を視聴した。

シンポジウムの中で、八重樫校長の言われた「つくば市だからできたということではない。つくば市でできるのなら他県でもできると思う。改革をしている県は少ない。やるのは大変。ロールモデルのない中で、そーしないと変えられないという思いでやってきた。可能かどうかわからないではなく、やるかやらないかだ!」という言葉が心に残りました。

先生の働き方改革はもちろんですが、子どもたちみんなが置き去りにされない改革になってほしいと思います。

令和4年度鳥取県スポーツ協会公認スポーツ指導者研修会日程

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格をお持ちの方は4年に1回の義 務研修を受講することになっています。

今年度の受講対象者は、有効期限が<u>2023年9月30日</u>・<u>2024年3月</u>31日の方です。

有効期限の半年前までに受講していただきますようお願いします。



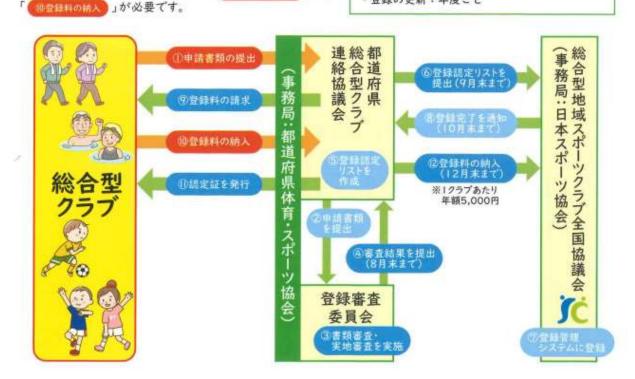
【公認スポーツ指導者研修会】

	期日	会 場
第1回	令和4年 6月 5日(日)	倉吉体育文化会館 (倉吉市)
第2回	令和4年 9月 4日(日)	米子コンベンションセンター (米子市)
第3回	令和4年11月 6日(日)	倉吉体育文化会館 (倉吉市)
第 4 回	令和5年 2月12日(日)	鳥取県立福祉人材研修センター(鳥取市)

登録・認証制度がスタートします!!

登録手続きは、下図①~②の順番で行われます。 登録を希望するクラブは、下図の「①申請書類の提出」と、

- ・登録有効期間:当該年度の||月|日から|年間
- 登録の更新:年度ごと



申請を希望されるクラブは5月に配布されます申請書に記入、必要書類を添付して鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に提出をお願いします。